

中国の金利引き下げについて

2015年5月11日

5月10日(現地時間)、中国人民銀行は政策金利(貸出基準金利と預金基準金利)を各々0.25%引き下げ、5月11日から適用すると発表しました。これで同国の貸出基準金利は5.10%、預金基準金利は2.25%となりました。今回の政策金利引き下げは昨年11月、今年3月に続き、この半年間で3回目となります。

《金利引き下げ決定に至った経緯について》

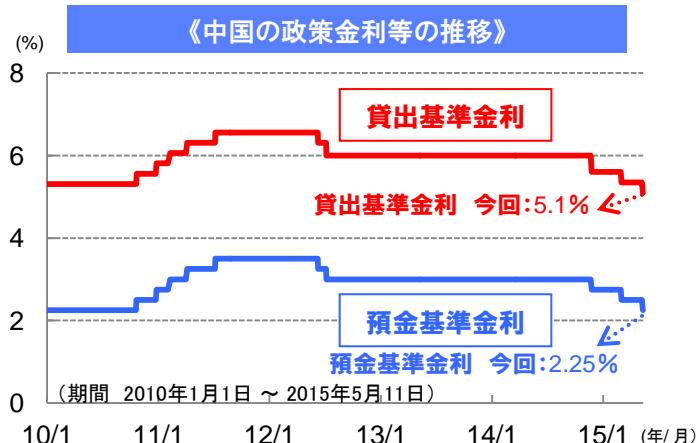
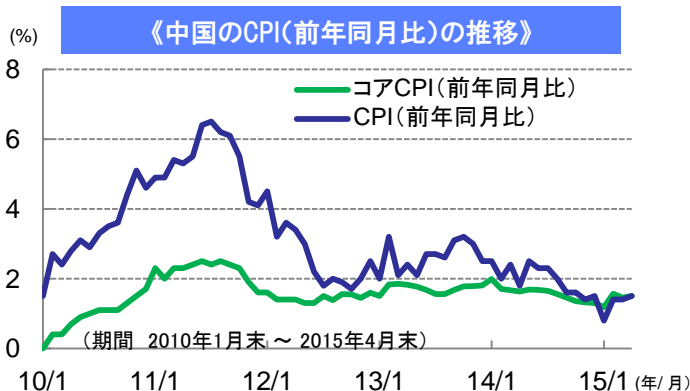
政策金利の引き下げ実施は、経済改革にもなう成長鈍化、不安定な外需動向など、下振れリスクの高まる国内景気に対し、金融面からの下支えをいっそう強化する狙いがあると見られます。

- ①不動産市況が低迷するなかで固定資産投資や鉱工業生産が減速しているものの、国内インフレ率の低下から実質金利が高止まりしています。
- ②先週発表された4月の貿易統計では、輸出が前年同月比で-6.4%と低迷するなど、外需の回復が依然として弱いことを示唆しています。

《今後の景気動向等について》

基準貸出金利が低下することにより、国内投資や不動産市場の底入れに一定の効果が期待できるほか、債務コストに苦しむ地方政府や不動産関連企業の負担低減も見込まれます。

もっとも金融緩和策は今回で打ち止めということではなく、中国政府は「新常态(ニューノーマル)」へ向けた強力な取り組みを進めるなかで、景気や市場の動向を注視しながら必要な局面では追加的な景気刺激策を発動するものと思われます。



出所：Bloombergより明治安田アセットマネジメント作成

- 当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。
- 投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。